

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人わんぱくクラブ

理事長 守屋 季代子

電話 048-711-4050

1.事業の成果

未だ通所を控えている利用者がある等、新型コロナウイルスによる収益減少が心配されましたが、雇用調整助成金や電話による支援、かかりまし費補填等によって最終的な収益に大きな影響はありませんでした。

デイズは利用者増により安定した利用が続き収益が大きく伸びました。下期から運転手を採用できました。放課後は例年とは違う夏休み期を乗り切ることが大変でしたが、秋からは大学生アルバイトや近隣主婦パート増員により、外出できずに単調になりがちな毎日の活動に工夫を重ねたり、個別対応に時間をかけられるようになりました。児童発達はコロナ禍でも利用が安定していたこともあり例年よりも提供回数を増やせました。アシスト・サポートは休日の外出支援や外食等を大幅に制限したことで減収となりました。利用希望は強いのですがコロナ以前と同じような支援ができるのか模索しています。

各事業所とも消毒等感染防止の研修に力を入れ、活動はもちろん、昼食や水分補給時、送迎時等に配慮を徹底して行いました。しかしながら思わぬ形での濃厚接触者との関係等により利用を控えていただいたり、関係先への連絡に職員の労力や時間を割かれることが度々起こりました。

2.事業の実施に関する事項（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（1）特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス	生活介護	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	18名	定員20名	35,519
	行動援護・居宅介護及び地域生活支援事業(移動支援)	随時	さいたま市内	28名	児童・知的障害者50名	14,169
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	児童発達支援及び放課後等デイサービス	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	29名	障害児 定員各10名 3か所	55,953
障害児(者)生活サポート事業	障害児・者の一時預かり事業、その他	随時	さいたま市内	22名	知的障害児 ・者利用会員 15名	324
福祉有償運送事業	利用会員に対する移送サービス	随時	さいたま市内	14名	知的障害児 ・者利用会員 15名	110

106,075